

柏原神明神社



山を想起するような河原に松林でもあったのかも知れない。

もとは真言宗であったとあるが、

越後の国名などとも関連があり、朝鮮より渡ったかと思われるおしら即ち白山神社系統の普及と共に、裏日本文化の系統を暗示するもののものである。

この境内に「瑞一宇奉神社大正三年八月吉日」と記した高さ一・〇六メートル、横七七センチの大きな石の碑が建ててあるが、これは大川より柏原・下米塚の青年があげ、土びきして運んだもので、磨滅の状態から大川を流れてきたものであろうが、附近の大川も、大洪水になると、このような大きな石まで運びこむことのできるのに、驚異の眼を見張るだけである。

2、松林山円城寺 こちらの山号には柏でなく松がついている。松林



柏原円城寺奥の院の秘仏聖観音